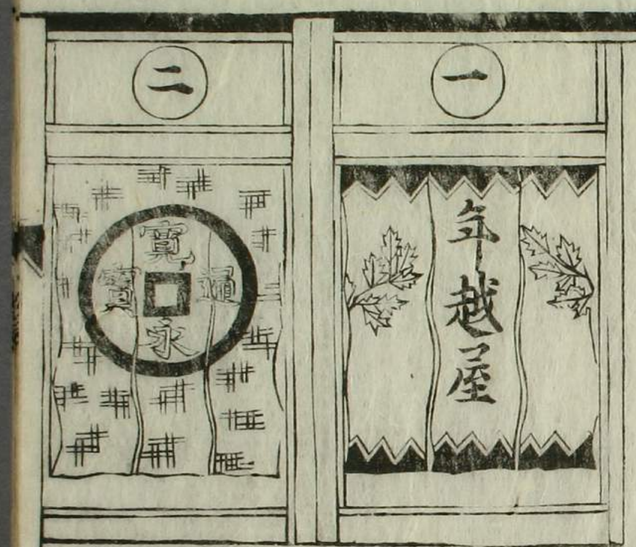
日本永代蔵

五

大福新長者教

へ13
3263
5

特
へ13
3263
5



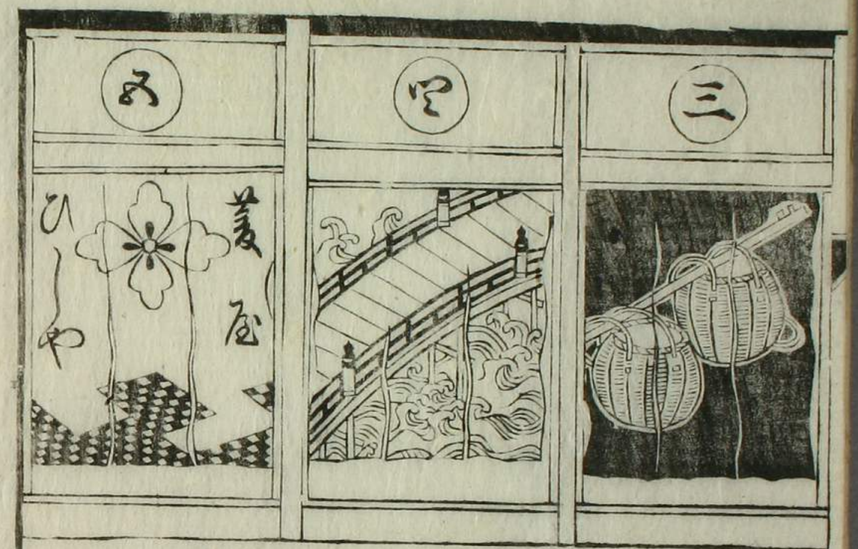
日本永代蔵

巻五

見立て書はつの利発

武州ふかくれなる一みちの孫屋

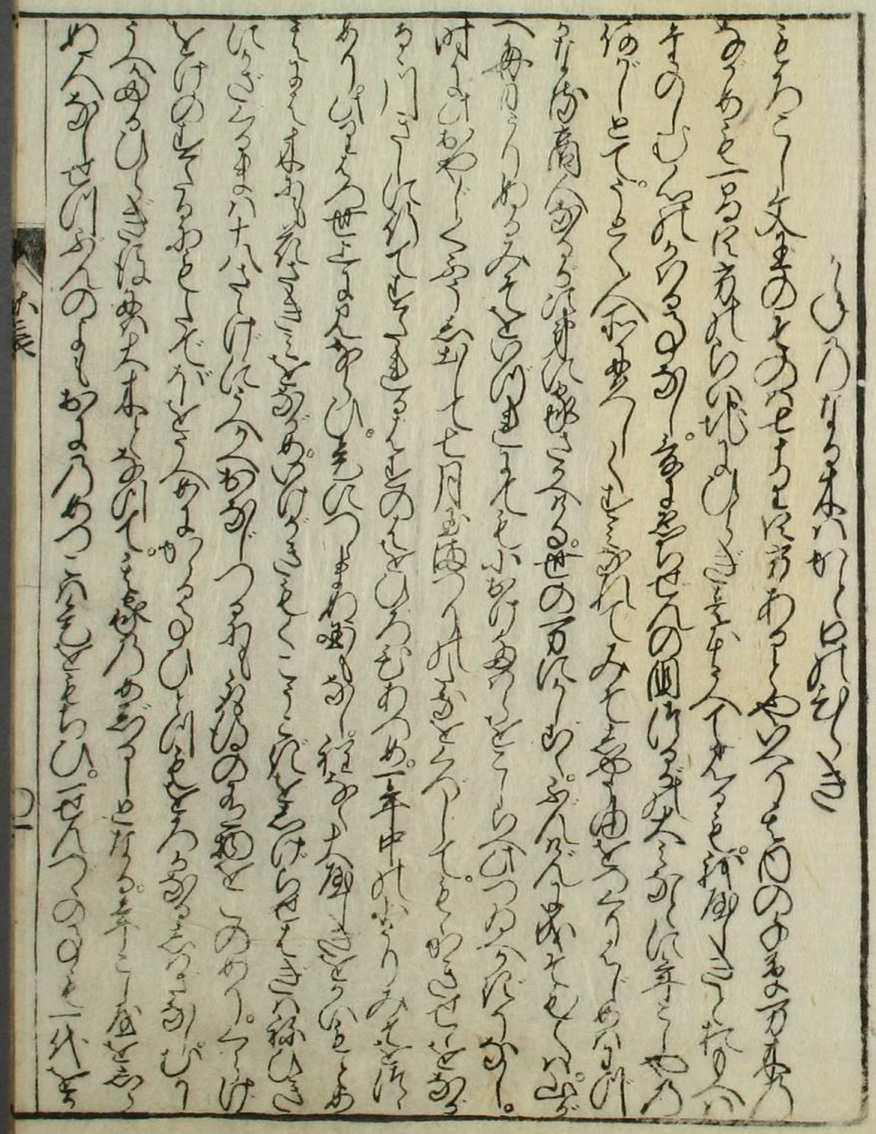
早稲田大学図書館



鰹乃塩辛々の油煎
常法のかくれなき金もうけ
人をそれくの形ひかせ

菓乃十法と一家の肖
親おのかくれなき帝之
為い蛸焼のかぶれ下

紙子問屋乃破き附
淀河にかくれなき菱の縁
雪乃丈夫とゆめ実そ

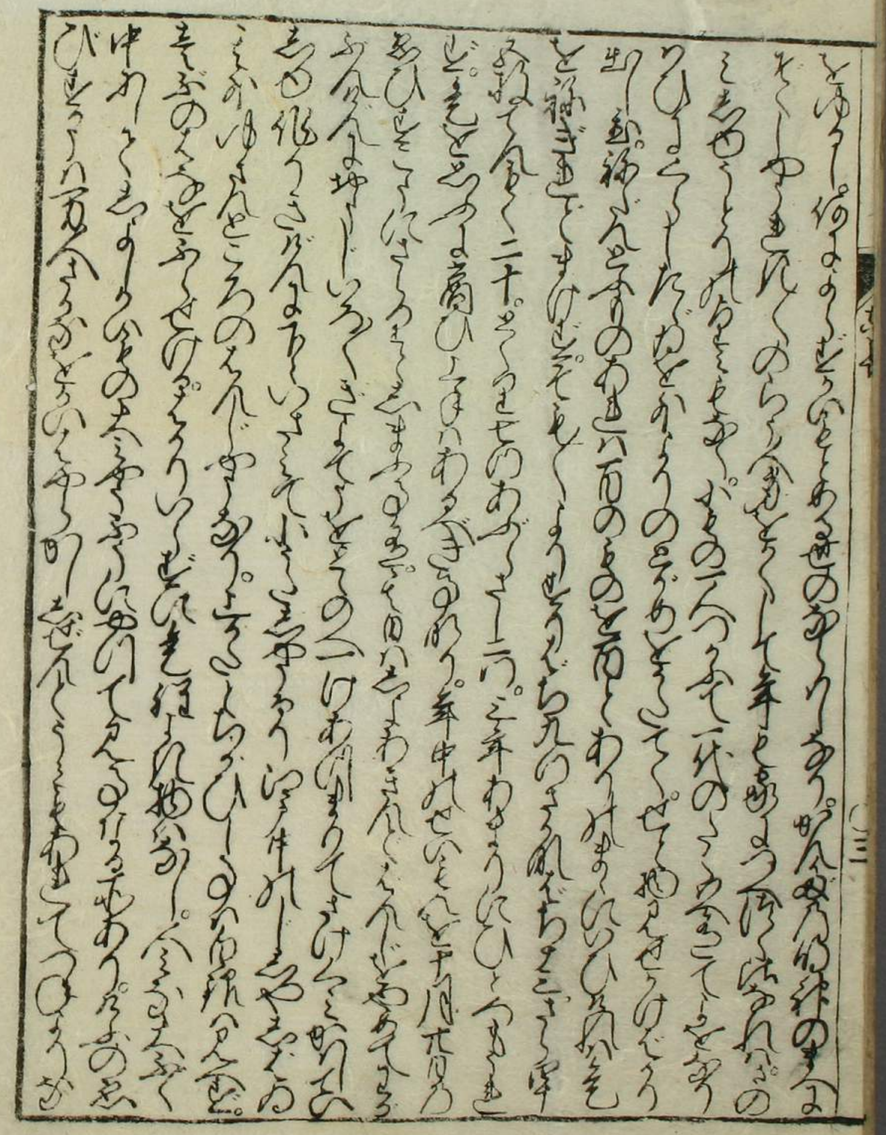


[illegible]

[illegible]

[illegible]

みそ
たまり



まあとうとうしけよあのの代金をあいつ。ちもとうらの
きこ人(三寸の中に)ぜ。もと町人のふんとて円部ともとりつつ
今おいとよもむわるんとかもとの分そこいもとれ家のひろ町とてあるそれ
ものもとまそこいろみのつまりのてちぎこのてあるこもよ合のの
れて。家ふとう町ぜもれてくこまるのわまうつる
金。用法ふまつぐ二の人のまてこあ物のひとうのておひものちぶ
と海けるこのまを行くとあるとひれちせのうこの年れ。
ひ行いせ人山面のものこて十年ひてくるまにあるふものもうりせを
三こでいこれのくあるさけよそ人ふとておけ。まりとりうこをとりを
なもかこ海ふうけのよあるひよてもをとうこぶまのり
人のわうよりてをこあるまもけひこまいのたのをれをあ皆也
せきう十一ふまこひとうまこれわるもあ八りうまよおまいふ人
のさうこたけるぶんふうしてりへれをとむやるあるのこうがいひこを
むうこいあまなまこ八いこ人人同とるあるうくもうとよいうあるとこ。
このりのうこをあるりてさうとりのあるんあつこうれ物ふまこの

乃ふ人よりあるぶりいこをのまうあるりこだろうんのあそちのをんあ物ちう
さうこいあまここぶく年ありこくこのあるこのだうをこうるりのちふ物ふ。
とこんうの中をそびまぶんくあるこりしこびものをうりをおすこを
物をあうこ二をこいこいをあるいをのやりこさうこんのしこ
けうりうる時ふこのこ中人ふ物ふ物ふうこのこのこのこ
物。物まこくあをこの四つひいれ貴中。ちびはあ術ふそ物ふつ夜
なりあまれ四ふ中のあ世ふそうあ四ふ四ふ八まりむうりけこ人ふの者
今のここをあをこうくくこんこうけうりあ四ふをうりのけ八ふくふ物ふし。
こもこをぶをこいひぶんをこんりあ中ふ方ふくんをあれのひあり。ちあのうこ世ふ
人のあをこうこをこ毎年乃ふんふあ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ
ひあ人金ふ百ふ毎ふをこうのりうこちまりこ人ふまこ年ふまこのけてふ海ふと
つこふのこうこりこ月ふ年ふこ月ふ年ふ付ふけふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ
商ひもふあうつこあをこうふ人ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ物ふ
ふんをあるひつ乃ふそこふ人ふあれ年ふ久ふ世ふ人ふ年ふ在ふのふ乃ふ人ふ同ふ人ふさ
ざふあるをひとりこふ大ふぶふんふ氏ふのふむふかふらふのふえふびふまふをふひふれふはふる

百万つぎさてこのかんねんそこらしてさらしてさいかんのこの代
ちらいまる長者ときこえもてはやしたるこの代
の代ぞんぜんのゆづりあるてはとどまりてふくきぶんのひろ所
まれくくんのひとこゝろをもつぎのこたびのたのもしさ
さて世をおうけれはあまたの百万長者ひとりのこの代
ひとりのこの年ごろちよいとびんぼうけ
ひまのこのこゝろひとつ百姓あるべきようにこゝろ
ゆるさぬぞとこゝろ金ごとひとりこゝろ
まとうてこのゆるきこゝろ
えんぎしてこのまゝくらいあるこゝろ
つきのひとをはぶくこゝろ
どもあるとこゝろ
ぐるまのこゝろ
あるこゝろ
あるこゝろ
ある

[illegible]

[illegible]

茶の十そくもてきまる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

吉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]